

# デザイン材料加工実習I

選 択

開講年次：2 年次前期

科目区分：実 習

単 位：2 単位

講義時間：60 時間

■**科目のねらい**：デザインの材料にはさまざまなものがあるが、ここでは木やプラスチック、セラミックスといった材料の特性について概説した上で、実際に課題を制作させ、材料の特性に合わせた加工技術や各種工作機械の活用方法を習得させる。また、デザインの目的に合致した材料の選択と、その加工方法についても理解させる。

■**到達目標**：①素材の特性を理解し、計画的に加工することができる  
②泥漿鑄込み成形技法による磁器制作を通し、セラミックの特性および加工技術を理解する。  
③木工機械を安全に操作して加工することができる

■**担当教員**：【◎は科目責任者】

◎上遠野 敏・石崎 友紀・齋藤 利明

■**授業計画・内容**：

- 第 1 回 プラスチック加工実習1（水平、垂直、直角1）
- 第 2 回 プラスチック加工実習2（水平、垂直、直角2）
- 第 3 回 プラスチック加工実習3（有機的形状の切削成型1）
- 第 4 回 プラスチック加工実習4（有機的形状の切削成型2）
- 第 5 回 木材加工実習1（木工室機器操作講習）
- 第 6 回 木材加工実習2（木取り、ケガキ）
- 第 7 回 木材加工実習3（木材切断、切削）
- 第 8 回 木材加工実習4（接着、接合、組み立て）
- 第 9 回 木材加工実習5（着色、コーラージュ）
- 第10回 セラミック実習1（型成形技法概説・原型制作）
- 第11回 セラミック実習2（石膏原型制作）
- 第12回 セラミック実習3（鑄込み型制作）
- 第13回 セラミック実習4（鑄込み型制作）
- 第14回 セラミック実習5（泥漿鑄込み）
- 第15回 セラミック実習6（素焼き修正・釜入れ）

■**教科書**：適宜資料を配布

■**参考文献**：なし

■**成績評価基準と方法**：出席・授業態度と提出作品の結果を総合して評価する。

評価方法	到達目標			評価基準	評価割合(%)
	到達目標①	到達目標②	到達目標③		
定期試験					
小テスト・授業内レポート					
授業態度					
発表					
課題・作品	◎	◎	◎	作品の内容	70%
出席	○	○	○	2/3以上の出席が必要 出席回数×2点	30%
その他					

◎：より重視する ○：重視する 空欄：評価に加えず

■**関連科目**：造形基礎実習、デザイン材料加工実習、デザイン総合実習

■**その他（学生へのメッセージ・履修上の留意点）**：・授業開始時に、一括購入する教材費（木材・プラスチック・石膏等）として4,800円が必要となります。

・プラスチック加工実習時にはカッターナイフ、精密ヤスリ、紙ヤスリ、接着剤、定規が必要です。